

特色

当院病理科部は、平成26年4月より病理診断科として標榜しています。内科・外科をはじめ院内各診療科から採取された患者さんの検体から顕微鏡標本を作製し、診断しています。現在は当院の医師3名(2名が病理専門医)と香川大学から2名の非常勤医師、臨床検査技師6名(5名が細胞検査士の有資格者)で診断業

務を担っています。病理組織診断は病理医によるダブルチェック体制で精度管理を行い、診断・報告しています。細胞診も細胞検査士によるダブルチェックを行い、穿刺細胞診の全てと婦人科・尿検体などの擬陽性以上の判定例について、細胞診専門医による確認の上で診断報告しています。

業務内容

生検および手術による切除組織の病理組織診断、細胞診、術中迅速病理組織診断を行っています。通常のホルマリン固定ヘマトキシリン・エオジン染色のほかに、

PAS染色などの特殊染色、免疫組織化学染色を必要に応じて追加して、診断の参考としています。診断内容についての問い合わせには、随時対応しています。

診療実績

病理組織診断: 6,344件

術中迅速病理診断: 229件

細胞診: 10,015件

(令和3年度)

- 日本病理学会研修認定施設 B
- 日本臨床細胞学会認定施設

地域の先生方へ

当院は地域がん診療連携拠点病院に認定されています。質の高い、迅速で的確な診断で、外来診療、入院患者さんへの治療を支援します。

治療方針の決定の際に紹介元での病理組織標本の

再検討が必要になり、臨床各科の主治医を通じて標本の貸し出しをご依頼することがございます。標本は返却いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。